

令和元年度 武雄市立武雄中学校 学校評価結果

1 学校教育目標
2 本年度の重点目標
高志と誇りを持ち、心豊かで輝く生徒の育成
①キャリア教育の一層の充実を図り、学ぶ意義を理解させる。
②出番と役割を与え、承認する「開発的生徒指導」を実践する。
③コミュニティ・スクールとして、家庭・地域との協働体制の充実を図る。
④教職員が健康的に日々の業務に従事できる環境整備に努め、質の高い教育を実践する。

(達成度)
A:ほぼ達成できた
B:概ね達成できた
C:やや不十分である
D:不十分である

3 目標・評価 ※文末にある()内の数字は、昨年最終評価→中間評価→最終評価

①キャリア教育の一層の充実を図り、学ぶ意義を理解させる。
領域: 教育活動
評価項目: 志を高める教育
評価の観点: 自らの夢や目標の実現に向かう教育活動の推進
具体的目標: ①将来の目標や夢を持つ生徒を80%以上にする。(70.2→71.5→72.1)
(保82.3→80.7→81.6)

②出番と役割を与え、承認する「開発的生徒指導」を実践する。
領域: 教育活動
評価項目: 心の教育
評価の観点: 支持的風土づくりの醸成
具体的目標: ⑥学校内外でのあいさつを推進する。(79.8→82.4→80.6)
⑦学校に居場所があると感じている生徒を85%以上にする。(84.4→85.2→85.0)

③コミュニティ・スクールとして、家庭・地域との協働体制の充実を図る。
領域: 学校運営
評価項目: 家庭・地域との協働体制の充実
評価の観点: 地域とともにある学校づくりの充実
具体的目標: ⑩地区行事に参加している生徒を80%以上にする。(51.5→52.0→52.7)
(保43.0→42.1→40.2)

④教職員が健康的に日々の業務に従事できる環境整備に努め、質の高い教育を実践する。
領域: 学校運営
評価項目: 業務改善・教職員の働き方改革の推進
評価の観点: より適正な部活動運営
具体的目標: ①勤務時間を意識して効率的に仕事をし、かつと職員を85%以上にする。(67.5→75.2→73.5)

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目
領域: 教育活動
評価項目: 健康・体力づくり
評価の観点: 望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成
具体的目標: ⑤マナーを守って給食をいただき、感謝して残さず食べる生徒を90%以上にする。(90.0→89.2→90.6)

4 本年度のまとめ・次年度の課題
学力向上について、教師は話し合い活動を取り入れた授業の改善を行っており、生徒も対話的な授業が行われていると感じている。しかし、毎日1時間以上の家庭学習が定着しておらず、課題の出し方を工夫していく必要がある。また、キャリア教育を充実させ、進路意識と学習意欲の向上を図るとともに、適切にICTを活用した授業づくりや主体的・対話的・深い学びについて研修を深め、実践を通して指導力を高めていくことが必要である。

●は共通評価項目、○は独自評価項目